

新型コロナウイルス感染予防対策

1. 大会（人が集まる場所）開催の前後を含めた適切な予防対策の実施について
 - ・ 参加時に体温測定ならびに症状の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めない。
 - ・ 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加しない、させない。
 - ・ 感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方は参加しない、させない。
 - ・ 体調不良の方が参加しないように、参加費キャンセル代などについて配慮する。
 - ・ 発熱者や具合の悪い方が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
 - ・ 主に参加者の手が触れる場所をアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取りを定期的に行う。
 - ・ 会場に入る際の手洗いの実施。（消毒液設置）
 - ・ 開催期間中においても適宜手洗いができるような場所の確保。
 - ・ 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う。
 - 「試合前の挨拶等、手が届く範囲以上の距離を保つ」
 - 「応援など、声を出す機会を最小限にする」
 - 「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」
2. クラスタ（集団）感染発生リスクの高い状況の回避について
 - ・ 換気の悪い密閉空間にしない。
 - ・ 換気設備の適切な運転をする。
 - ・ 定期的（試合間・セット間など）に外気を取り入れる換気を実施する。
 - ・ 人を密集させない環境整備をする。
 - 「開・閉会式、表彰式を行わない」など会場に入る定員（無観客など）を少なく定め、入退場に時間差（試合設定1時間前など）を設け動線を工夫する。
 - ・ 共有物の適正な管理と消毒の徹底をする。
 - ・ 大きな発声をさせない環境を作る。（声援などは控える）
3. 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力について
 - ・ 大会に参加したチーム・個人・大会役員の中に感染者がでた場合
 - 「関係者に連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所など公的機関に連絡がとれる体制を確保する」
 - ・ 参加したチーム・個人・大会関係者は、保健所などの聞き取りに協力する。
 - ・ 濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。
4. その他
 - ・ 食事（昼食など）の提供について
 - 「大皿などでの取り分けを避け、個別にパッケージされた食事を提供するなどの工夫をする」
 - 「終了後の懇親会などは、開催しない・させないようにする」